

あおぞら

行方市 社協だより

No.29 2013.6.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会
住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



行方市ボランティア連絡協議会の皆さんが清掃活動を実施 関連記事はP11

P12

善意銀行・編集後記

P10-11

お知らせ

P8-9

地域福祉活動計画

P7

社協のさーびす

P6

はじめての手話

P5

いきいき長寿者紹介

P4

平成25年度予算

P3

平成25年度事業計画

P2

会長あいさつ

目次

ごあいさつ



社会福祉法人

行方市社会福祉協議会

会長 伊藤 孝一

平成25年度第1回広報誌「あおぞら」を発行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃より皆様方には行方市社会福祉協議会の事業推進に深いご理解、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

近年、少子高齢化が進み、かつての地域の連帯感や助け合い等の相互扶助が変化するとともに、高齢者や子どもへの虐待

など新たな社会問題も発生しています。

こうしたことから、住民一人ひとりが個人として尊重され、人と人とのふれあいを深めながら、安心して暮らせる地域を目指し、また、環境の変化に対応した地域福祉を実現するため、昨年度『地域福祉活動計画』を作成いたしました。

今後、この計画の推進にあたり「あなたが支え

るふるさと なめがた」を基本理念とし、住民、行政、関係団体の協働のもと、地域という視点を大切にして、これまで以上に取り組んでまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度行方市社会福祉協議会事業計画

社会福祉協議会（社協）は、社会福祉法に基づき、すべての都道府県、市区町村に設置され、住民主体の地域福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間組織です。

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて、住民の皆さんと共に考え取り組んで参ります。

地域福祉事業

- 高齢者福祉事業
 - ・給食サービス事業
 - ・介護予防事業
- 障害者（児）福祉事業
 - ・ひつくり・発見・夏キャンプ
 - ・障害者ふれあい料理教室
 - ・のびのびサポート事業
 - ・盲人用録音物配布事業
 - ・障害者スポーツ大会参加者支援
 - ・心のサロン
- 母子・父子福祉事業
 - ・ひとり親家庭事業
- 子育て支援事業
 - ・子育て健康講座
 - ・子育てサポート事業
 - ・養育支援訪問事業
- ボランティア活動の推進
 - ・ボランティアセンターの運営強化
 - ・ボランティア講座の実施
 - ・ボランティアグループの育成・援助
 - ・福祉教育の推進
- 共同募金運動
- 歳末たすけあい運動
- 福祉関係団体の支援

社協の主な事業



障害者総合支援事業

- 居宅介護
- 重度訪問介護
- 同行支援
- 行動支援
- 計画相談支援
- 就労継続支援B型

相談支援事業

- 法律相談事業
- 日常生活自立支援事業
- 生活福祉資金貸付事業

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業

当事者団体支援事業

- 行方市ボランティア連絡協議会
- 行方市老人クラブ連合会
- 行方市身体障害者福祉協議会
- 行方市遺族会

広報啓発事業

- 広報誌「あおぞら」の発行
- ホームページの管理運営

地域生活支援事業

- 相談支援事業
- 移動支援事業
- 地域活動支援センター

在宅生活支援事業

- 福祉機器（車いす等）貸出事業
- 福祉車両貸出事業
- 訪問歯科診療器具貸出事業
- 在宅リハビリアドバイザー事業
- 在宅福祉サービス事業
- 軽度生活援助事業

その他社会福祉関連事業

- デマンド型コミュニティバス（乗合タクシー）事業

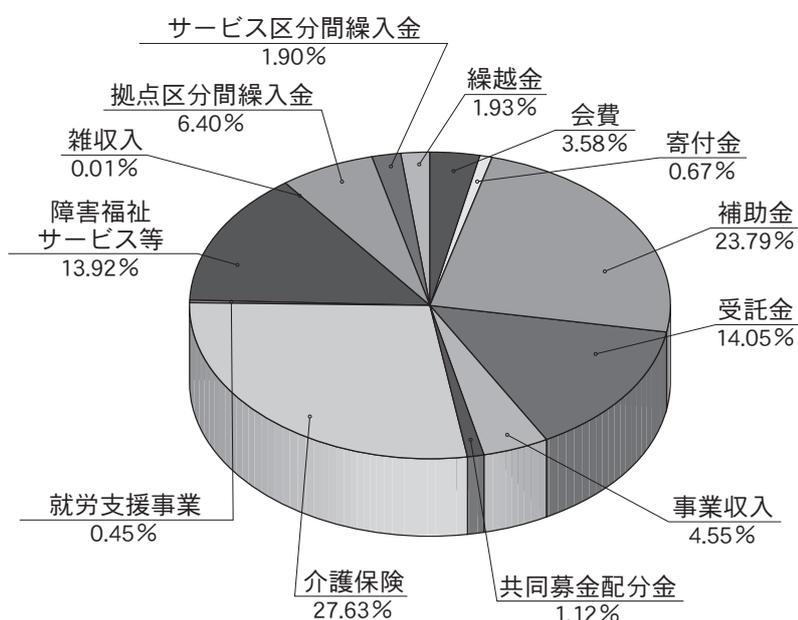
平成25年度行方市社会福祉協議会予算

平成25年度予算は3月に行われました理事会・評議員会で議決されました。住民の皆様からの会費や介護報酬のほかに、市からの補助金・受託金や共同募金等で構成され、様々な福祉事業に役立てられます。

一般会計 294,225,000円

収入

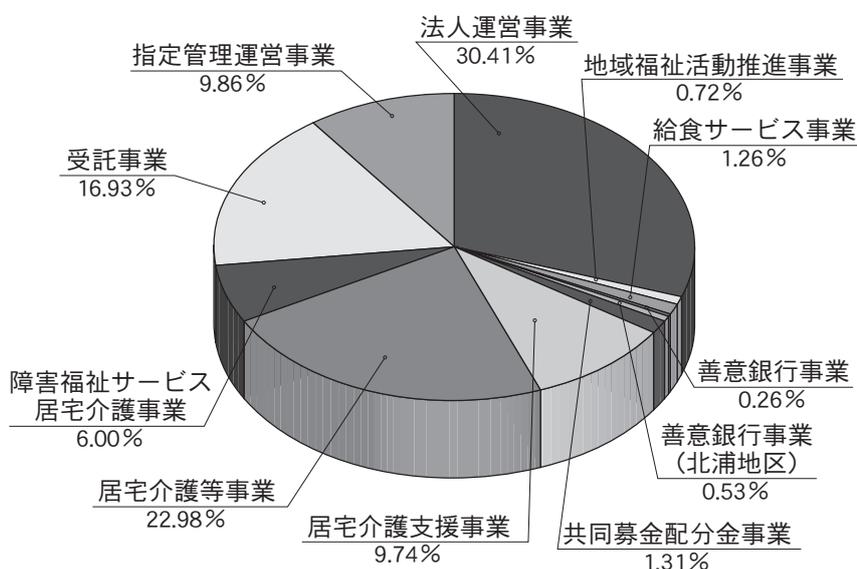
(単位：千円)



会費	10,540
寄付金	1,960
補助金	70,006
受託金	41,346
事業収入	13,392
共同募金配分金	3,300
介護保険	81,286
就労支援事業	1,333
障害福祉サービス等	40,970
雑収入等	17
拠点区分間繰入金	18,823
サービス区分間繰入金	5,583
繰越金	5,669
合計	294,225

支出

(単位：千円)



法人運営事業	89,471
地域福祉活動推進事業	2,126
給食サービス事業	3,705
善意銀行事業	761
善意銀行事業(北浦地区)	1,564
共同募金配分金事業	3,850
居宅介護支援事業	28,671
居宅介護等事業	67,608
障害福祉サービス居宅介護事業	17,641
受託事業	49,807
指定管理運営事業	29,021
合計	294,225

100歳を越え、長寿者紹介

貝塚 禎作 さん (行方市繁昌) 70歳



言葉に苦勞

四月にしては少し肌寒い日にお伺いしました。季節は春の準備をすっかり終えて、盛りをむかえようとしているのに、前日に降った雨がそれを許さないかのような気候です。そのようななか貝塚さんは息子さん夫婦とともに迎えてくれました。

貝塚さんは三人兄弟の末っ子として繁昌でお生まれになりました。東京での十年間の理容師修業ののち、地元に戻り開業さ



貝塚 禎作 さん

れたそうです。そこで、修業時代に苦勞したことについてお伺いしました。「言葉が一番苦勞したかな。方言が通じなくてね。上京するまでは使っている言葉が方言かどうかなんて考えもしなかつたよ。当時はよくわかられたもんだ。」と笑って答えてくださいました。

フリースは毎日

昨年十月で百歳を迎えられた貝塚さん。今も毎日近所のゲートボール場まで足を運び、フリースを楽しんでいるとのこと。子どもころから体を動かすことが好きだったんだよ。そのおかげで体が鍛えられたんだと思う。七十歳くらいまでは、病院に行ったことがなかった

よ。「とおつしやっていました。

また、スポーツ観戦も好きで、テレビで野球やサッカーなどをご覧になるそうです。貝塚さん曰く、「巨人が好きなんです。最近ではテレビでやる日が少なくなっちゃってね。」と少し寂しそうな表情が印象的でした。

もうひとつ貝塚さんにはライフワークにしていることがあります。それは歌です。十八番は無法松の一生。自分で歌うのはもちろんのこと、聞くのも大好きだそうです。「好きなラジオ番組があつてね。かかさず聞いているよ。」と教えてくださいました。

太陽のような存在

「ありがとう」「や」「感謝」の心を持ちながら生活すること、心にかけているという貝塚さん。これまでの人生を振り返ると、周りの人達に恵まれてきたとおつしやっていました。しかし、それは貝塚さんご自身が暖かい太陽のような存在であったからこそではないでしょうか。

夢は・・・

最後にこれからの目標についてお伺いしました。すると、少し時間を置いて、「のど自慢にできることが夢だね。」と照れくさそうに答えてくださいました。

優しくも力強く質問に答えてくださった貝塚さん。これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。

取材が終わりに外に出ると、先ほどの肌寒さが嘘のようにぽかぽか陽気になっていました。そう感じたのは天候のせいだけではないかもしれません。



ゲートボールで獲得したメダルの数々

はじめての手話⑥

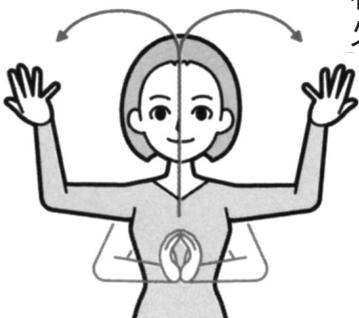
夏の訪れを感じる6月になりました。今回は、夏にまつわる手話を紹介します。ぜひ、チャレンジしてみてください。

①夏



親指を人差し指の上にのせた右手拳で首筋を仰ぐように動かす

②花火



甲をふくらませた両手をつけ合せ、上へ上げて左へ開く

③祭り



5指を折り曲げた両手掌を上に向けて右肩の前で上下する
(神輿を担ぐイメージ)

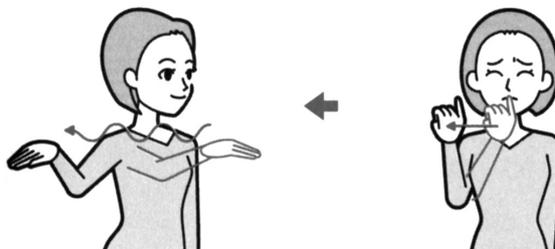
④キャンプ



左手甲に右手5指の指先をつけ、上に引き上げながら閉じる

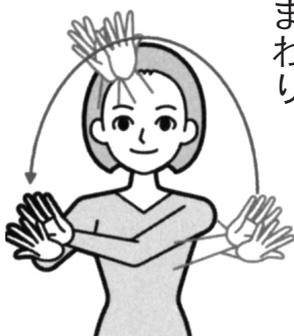
⑤海

立てた右手小指の指先を唇にあて、右へ動かし、



掌を下に、指を前に向けた右手を右方へ波打たせる

⑥ひまわり



手首をつけた両手を広げ、左から右へ大きな弧を描いて移動する

花の形を回転させて太陽に向けて開く表現

市内において活動している手話サークル

みんなの手 (麻生地区)、相生会 (北浦地区)、ほたる灯 (玉造地区) があります。手話に興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

お問い合わせ 地域福祉係 ☎0299(36)2020

社協のさーびす ① 日常生活自立支援事業

今号より掲載することになりました、「社協のさーびす」。ここでは、対話形式で社協のサービスを分かりやすく説明していきたいと思えます。第1回目の今回は「日常生活自立支援事業」をご紹介します。



A子さん：ひとり暮らしをしている父なんですが、最近お金の管理に自信がなくなってきて言うんです。それに、商品勧誘の人が来たとき、どう対応していいかわからないとも言っています。どうしたらよいのでしょうか？



社協太郎：それなら「日常生活自立支援事業」を利用してみたらどうですか。

A子さん：それはどのようなものなのでしょうか？



社協太郎：自分ひとりでのお金の管理に困っている人や、福祉サービスの契約などの判断をすることが不安な人が利用できる制度です。本人に代わって日常的なお金の出し入れをしたり、通帳・証書を預かったりもします。それに定期的な訪問もあります。



A子さん：そうなんですか。知りませんでした。それなら父も私も安心です。早速父に話してみます。

※相談は無料ですが、サービス利用に関しては有料です。対象者の状況によってはサービスを利用できない場合もあります。詳細についてはお問合せください。

サービス使用例 【ホームヘルパーの利用と通帳管理のお手伝い D子さん 80歳】

Dさんは現在、ひとり暮らし。最近「通帳の置き場所が時々わからなくなる」など不安を感じていました。また、ホームヘルパーを利用したいと思っていましたが、どうやって手続きをしたらよいかわかりませんでした。そんな折に、娘さんを通じて社協に相談したことが日常生活自立支援事業を知るきっかけになりました。

現在は、毎月1回生活支援員が訪れ、預金から生活費をおろしてきてもらい、Dさん宛の郵便物のなかで支払いの必要なものがあれば、一緒に確認をして手続きのお手伝いをします。さらに要介護認定の申請なども生活支援員が立ち会うなど、Dさんの暮らしをしっかりとサポートしています。

お問合せ 地域福祉係 ☎ 0299 (36) 2020

「なめがた」が完成しました!

後の取り組み>>

◆組織体制の強化

- ・効率的かつ実効性のある事業展開をしていくため、組織体系の強化を図るとともに、職員の知識や能力の向上、事務事業等の効率化を図ります。



◆支え合いと助け合いの地域づくり推進

- ・地域の住民が性別や年齢にかかわらず気軽に集まり、情報を交換し、相談をし合えるような場所や機会を充実させ、地域の人々の交流を促進します。
また、地域で、孤立しながちな高齢者や子育て中の親に対して、人々と交流できる場を提供していきます。

◆情報提供・相談体制の充実

- ・地域の人々が、自分の必要する情報を容易に入手できるよう、社協だよりやホームページをはじめとした各種情報媒体を活用していきます。
- ・地域の人々が、自分にあつた適切な相談を受けることができるよう、相談機能の充実を図るとともに、関係団体との連携を強化していきます。



理念 支える さと めがた

すべての市民が、地域の中で、いきいきと活動し、安心・安全に生活できる地域社会をつくることが求められています。

今、公的なサービスとともに重要になっているのは、地域を支える力としての住民の役割です。地域の実情に通じた住民が、地域の人々と普段から、心の絆を強め、お互いに助け合い、支え合っていくことが必要です。

市民一人ひとりが、福祉サービスの受け手としてだけでなく、地域福祉の主役として、地域の活動に積極的に参加していくことが大切です。

行方市社会福祉協議会は、地域福祉を推進するため、「あなたが支えるふるさと なめがた」を基本理念として、市民の皆様や、行政、関係機関と連携して、地域福祉活動計画を推進いたします。

行方市地域福祉活動計画

「あなたが支えるふるさと」

《重点課題と今》

行方市地域福祉活動計画とは

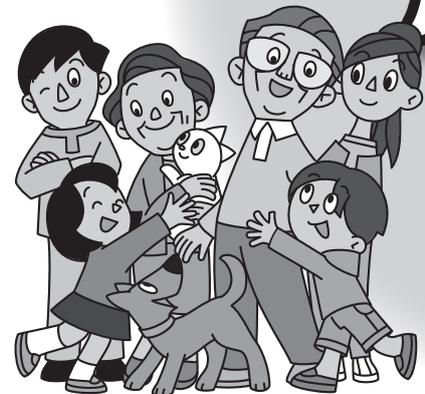
この計画は、地域の皆さんや福祉・保健等の関係団体や事業者が、地域福祉の推進に主体的に関わるための具体的な活動をまとめたものです。

◆市民の活動への参加促進

- 市民一人ひとりの地域福祉に対する関心を高め、各種の活動への参加を促進するため、学校や地域などでの様々な機会を通じて、福祉に関する学習と体験の場や機会の充実を図ります。
- 地域福祉を担う人材を発掘、育成、支援していくため、地域福祉やボランティア活動に関する学習の機会を拡充していきます。
- ボランティア活動への参画を促進するため、各種活動団体の情報を提供するとともに、参加のきっかけづくりになる説明会、体験学習の機会の充実を図ります。

◆サービス提供体制の充実

- 地域の実情に応じた、きめの細かい福祉サービスを実施します。
また、地域の人々が中心になって行なう住民参加型福祉サービスの支援を行ないます。
- 地域の人々一人ひとりの人権の擁護という観点に立って、高齢者や障害者、児童への虐待の予防、防止を図るとともに、被虐待者への支援を行ないます。
また、悪徳商法への対応から、認知症や知的障害、精神障害などにより、自分で的確な判断のできない人々に対して支援を行ないます。



基本

あなたが
ふるな

のびのびサポート参加者募集

夏休み、みんなで一緒に過ごしませんか？

実施日 平成25年 7月24日(水)・25日(木)・26日(金)

8月 1日(木)・2日(金)・9日(金)・16日(金)

21日(水)・22日(木)・23日(金)

定員 10名 (定員を超えた場合は抽選により決定いたします)

参加費 1,000円 (1日あたり)

時間 午前9時から午後4時まで

場所 行方市玉造農村環境改善センター

内容 屋内外でのレクリエーション等

対象者 市内在住の特別支援学校等の児童・生徒
※処遇することが困難な医療を要する方を除く

詳細につきましては、お問合せください。

●お問合せ

地域福祉係 ☎ 0299(36)2020

ふれあい料理教室参加者募集のお知らせ

市内に住む障害者の方を対象に、食事を通しての健康づくり及び仲間づくり・交流を図ることを目的として料理教室を開催いたします。栄養士考案の献立による自宅でもできる簡単なメニュー作りです。

お気軽にご参加ください♪

■会場：北浦保健センター 調理室

■時間：10:00 ~ 13:30頃

■参加費：無料 (研修等の際、個人負担があります)

開催日	
6月29日(土)	調理実習
9月28日(土)	調理実習
12月21日(土)	調理実習
平成26年3月	研修事業

調理補助のボランティアも募集しています♪



(お問合せ) 地域福祉係 ☎ 0299(36)2020

障害者地域活動支援センター「ドリームハウス」

4月11日(木)に霞ヶ浦ふれあいランドにお花見に出かけました。天気もよく暖かな中、桜の花は少々散ってしまっていて残念でしたが、みんなでボールを使ったレクリエーションやバトミントン、散歩や虹のタワーにのぼり楽しみました。お昼は、みんなでお弁当を食べました。外で食べるお弁当はとてもおいしく、笑顔が絶えない一日となりました。



障害者地域活動支援センター「ドリームハウス」

〒311-3832 行方市麻生2744-23 ☎ 0299(72)0054



らっけん げんき行方楽健塾 参加者募集のお知らせ

ニュースポーツを通して、自分の能力や好みに合わせて楽しみ、生きがいと健康、仲間との交流を深めながら生涯スポーツの振興を図ります。

「元気で いつでも どこでも 誰とでも 楽しもう。」



交流会ではユニカールを楽しみました

- 主 催** 行方わくわくスポーツクラブ
- 会場・期日** 行方市内の公共施設において月1、2回
※申込者の方には詳細を御連絡いたします。
- 講 師** 茨城県スポーツリーダーバンク登録者
茨城県ニュースポーツクラブ指導者
行方わくわくスポーツクラブ指導者
- 募集対象** 行方市内にお住まい
もしくはお勤めの方
- 実施種目** ユニカール、シャフルボード、
オーバルボール、ニチレク、
ベタンク、バツコー、フライング
ディスクゴルフ、バードゴルフ、
デスコン 等
- 費 用** 保険代 会費他 年間1,000円
- 申 込 先** 行方わくわくスポーツクラブ
(代表 羽成忠一) ☎0299(55)0299
または
社会福祉法人 行方市社会福祉協議会
地域福祉係 ☎0299(36)2020

●お気軽にご相談ご連絡下さい

給食サービス ボランティア募集



絵手紙を添えて「お元気ですか？」の一声とともにお渡しします。旬の食材を使ったお弁当は、大変喜ばれております。

玉造地区の調理・配達ボランティアとして活動して下さる方を募集しています。お料理が好きな方、興味がある方は是非活動に参加してみませんか？

- 活 動 日 毎月第2・4木曜日
(午前9時～正午くらい)
※9月より第2・3・4木曜
の月3回活動予定です
- 活動内容 市内にお住まいのひとり暮らし
高齢者や高齢者世帯、障害
者世帯へのお弁当づくり・配
達(どちらかのみでも結構です)
- 実施会場 玉造公民館 調理室



●お問合せ
地域福祉係 ☎0299(36)2020

地域のごみゼロを願って ～ボランティア連絡協議会が清掃活動を実施～

3月30日(土)に天王崎公園周辺において、行方市ボランティア連絡協議会会員のみなさん、約60名の方々が清掃活動を行いました。当日はあいにくの小雨にもかかわらず、みなさん精力的に活動されていました。参加者の方からは「思っていたよりもごみはあるね」や「きれいになると気持ちいいね」などの声が聞かれました。皆さんお疲れさまでした。



清掃活動の様子

皆様からのご寄付 (順不同・敬称略)

一般寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
食べ処わたなべ	20,000	無指定
玉造工業高校24年度卒業生一同	4,462	無指定
匿名	1,678	無指定
荒張高一	20,000	無指定

指定寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
青木 幸	10,000	北浦
勢司 浩之	20,000	北浦
阿須間 謙三	20,000	北浦
齊藤 フサ	20,000	北浦
東山 稔	10,000	北浦
大和田 良夫	20,000	北浦
鈴木 操	20,000	北浦
大久保 文男	20,000	北浦
原 瑞穂	30,000	北浦
塙 一男	10,000	北浦
前川 俊雄	10,000	北浦
沼里 静江	20,000	北浦
森坂 政行	20,000	北浦
谷田 仁	20,000	無指定
吉田 賢次	20,000	北浦
大和田 良夫	20,000	北浦
吉田 正治	10,000	北浦
谷川 善弘	20,000	北浦

広報委員

委員長	大軒 光江	委員	高橋さち子
副委員長	石橋 展子		山崎 寛
委員	大久保 守		横田 照実
	菅谷 京子		代々城千尋
	磯山 正子		野原 芳次

行方市善意銀行

平成25年2月1日から平成25年4月30日までに善意をおよせいただいた方々を紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
橋本 照雄	タオル	無指定

東日本大震災義援金

預託者名	金額(円)	指定先
北浦三育中学校	50,000	共同募金会



北浦三育中学校

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

編集後記

3月なのに20度を超えた日。4月中旬に15度に届かない日。前日に雨が降ったにもかかわらず、大風で砂嵐になる。温度差と風による花粉や埃で、風邪なんだか花粉症なんだか。くしゃみと鼻のおずがゆさに、まだまだ新緑の季節を楽しむ気分になれません。

でも、季節は確実に進んでいます。夏野菜の苗や花苗が店頭に並び始め、外での活動を誘っているようです。春の気候を楽しみながら、体調を整えて夏を迎える準備をしたいものです。近年の夏はとも暑くて長いですから。

代々城広報委員